

事業名		【継続】 小中学校学力向上対策事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
568万1					568万1	
事業期間		平成26年度～			総事業費	
【事業目的】 児童生徒の学力の検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。定着が不十分な学習内容につきましては、学習問題配信サービスを用いて補充をし、確かな学力を身に付けることを目指します。 併せて、小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。 なお、学術面における稽古館奨励賞を創設することにより、児童生徒の学力向上の推進・学習意欲の向上を図ります。 また、講師を招聘し、教職員を対象にした教育講演会や大学教授を招いた研修会や授業研究を実施することで、教職員の指導力の向上を目指します。						
【事業概要】						
学力の定着状況の 把握・指導の改善		① 本市独自の学力調査の実施 ・検証軸として学力調査を設けます。 (1) 対象：小学2・3・4年生、中学1年生 教科：国語、算数（数学） 実施期間：令和2年度1学期 (2) 対象：中学1・2年生 教科：中学校（国語、数学、英語） 実施期間：令和2年度3学期 方法：調査問題及び集計等は、外部委託します。				
		② 市内小中学校学習問題配信サービス (1) 対象・教科：小学1年～6年生・国語、算数、理科、社会 中学1年～3年生・国語、数学、英語 (2) 方 法：問題配信は、外部委託します。				
		③ ユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプ ・小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。				
児童・生徒の 学力向上の推進 ・学習意欲の向上		④ 稽古館奨励賞 (1) 対 象：小6年 9人 中1・2・3年 各5人 計24人 (2) 交付基準：学術面（学力・文化活動・生徒会活動・ボランティア等）に おいて優秀な児童生徒に交付します。 (3) 表 彰：賞状を贈ります。				
		⑤ 教育講演会 ・大学院専任教員を講師に招き、教員を対象に講演会を実施。				
		⑥ 島原市大学教授等と連携した授業改善研修 ・大学教授を講師や指導助言者として招き、研修会や授業研究を実施。				
指導力の向上		⑦ 先進地・先進校視察（隔年実施） ・1人（指導主事）、小・中教員4人（県費）				
科 目	10 款	1 項	2 目	目 名 称	事務局費	学校教育課
	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
事業計画	①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1・中2 教科 国語・算数（数学）・英語			①本市独自の学力調査 小2・小3・小4・中1・中2 教科 国語・算数（数学）・英語		引き続き実施予定
	②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語			②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語		

事業名		【継続】 外国語指導助手招致事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,489万9						3,489万9
事業期間		平成6年度～			総事業費	
【事業目的】 児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。						
【事業概要】 《配置人数》 7人（全小・中学校対象） 《配置校》 一中、二中、三中、三会中、有明中、一小、大三東小 《訪問校》 二小、三小、四小、五小、三会小、三会小長貫分校、高野小、湯江小 外国語指導助手(A L T)を7人体制で配置することで、小学1年生から中学3年生のすべての学級において、A L Tを活用した英語教育を行います。						
《活動内容》 ①授業における支援 ・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。 ・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働きかけ、実践力を身に付けさせます。 ②授業内容の計画作成における連携 ・教科担任等からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にした効果的な指導につなげます。 ③教材研究 ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。						
【成果】 ①全小・中学校を訪問し、授業で活用しています。 活用状況（令和元年9月） 1日平均 3.8時間 ②島原市独自のユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプを実施しています。 ③学校の掲示板にA L Tのコーナーを設け、外国の文化の紹介等を行うことによって、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるのに役立っています。						
						
科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定



6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

273P

事業名	【継続】 中学生海外訪問交流事業					
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)					
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
404万2				404万2		
事業期間	平成6年度～			総事業費		
【事業目的】 中学3年生を対象とし、夏季休業中に香港を訪問します。現地で活躍する日本企業の視察、中学生との交流活動、現地ジオパークの見学を通して、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培うとともに、将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指します。						
【事業概要】						
事業主体	島原市					
交流国	香港					
対象学年	市内中学校3年生					
人 数	12人					
交流日数	4泊5日					
事活動内容	①キャリア教育の一環として現地で活躍する日本企業の視察及び意見交換 ②香港ジオパーク見学及び現地学生との交流・意見交換 ③香港大学学生との交流 ④香港市内見学					
【財源内訳】						
①参加者負担金 3万円×12人＝ 36万円						
②国際交流事業補助金（長崎県市町振興協会より） 186万9千円						
③ふるさとしまばら応援基金繰入金 181万3千円						
合計 404万2千円						
 (訪問交流の様子)  (訪問交流の様子)						
科 目	10 款	1 項	2 目	目 名 称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

273P

事業名	【継続】 姉妹都市等交流事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
161万7					161万7
事業期間	平成30年度～			総事業費	
【事業目的】 中学生を対象とし、夏季休業中に災害時における相互応援協定を締結した静岡県小山町を訪問します。小山町と姉妹町の岡山県勝央町、観光友好都市の京都府福知山市、災害時相互応援協定都市の茨城県北茨城市及び兵庫県三木市と一同に会して交流を深めることを目的に、富士登山をはじめ、世界文化遺産富士山を理解する機会を持ち、将来に渡る絆づくりや、心身ともにたくましい人材の育成を目指します。					
【事業概要】 事業主体 島原市 交流地 静岡県小山町 対象学年 市内中学生 人数 10人 交流日数 2泊3日 事活動内容 ①富士登山 ②世界文化遺産富士山に係る資料館見学 ③他県中学生との交流					
					
科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費
事業計画	前年度まで			今年度	学校教育課
	市内中学生10人が静岡県小山町を訪問し、富士登山や世界文化遺産富士山に係る資料館見学を行い、他県中学生と交流を図りました。			上記事業を実施	来年度以降

事業名	【継続】 不登校児童生徒適応指導事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
342万8					342万8
事業期間	平成8年度～			総事業費	

【事業目的】

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

【事業概要】

〔要因・背景〕

「不安など情緒的混乱」「無気力」の割合が多いと言われていましたが、いずれの理由が主であるか決めがたい複合の割合が最近多く、要因・背景の複合化や多様化の傾向があります。そういう中、上記事業目的を持って設置してある本市適応指導教室は、多様なニーズに対応できる機関の一つとしてその存在価値は大きいものになっています。

〔対策〕※令和2年1月現在の状況
島原市適応指導教室

【ひまわり教室】（本市事業）

- ・相談員：2人
- ・通級者：小学生1人、中学生5人
- ・仮通級者：小学生0人、中学生0人

1週間の生活(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30	通 級 時 間				
9:40	朝 の 活 動				
10:00	朝 の 会				
10:50	ひまわり タイム	学 習 タ イ ム			
11:00	休 み 時 間				
11:50	学習タイム			自由タイム 軽スポーツ	ひまわり タイム
13:00	昼 食 ・ 昼 休 み				
13:30	通室報告・読書タイム				
14:30	軽スポーツ	チャレンジ 登校	陶芸教室	ALT 茶道教室	チャレンジ 登校
15:30	清掃・帰りの会				
	帰 宅				

科 目	10 款	1 項	2 目	目 名 称	事務局費	学校教育課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名		【継続】 学校司書配置事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,280万5						1,280万5
事業期間		平成16年度～			総事業費	
【事業目的】 読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができないものです。 そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。						
【事業概要】 配置人数 14人（全小・中学校） 勤 務 週3日 （年間）123日以内 勤務時間 1日6時間 活動内容 ① 経営的活動 ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計 ・図書ボランティアとの連携 ② 技術的活動 ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理 ③ 奉仕的活動 ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施 ・図書相談、学習資料の提供、広報活動 ④ 教育的活動 ・図書委員や図書館使用学級への援助 ・司書教諭や担任との連携						
【成果】 図書貸出冊数（年間1人平均）の推移 (単位：冊)						
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
小学校	160.7	160.7	170.4	173.6	166.8	
中学校	16.4	20.1	21	23.8	25.5	
(平成28年度までの目標：小学校120冊、中学校12冊)						
科 目	10 款	2・3 項	2 目	目 名 称	教育振興費	
事業計画	前年度まで			今年度		学校教育課
						来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名		【継続】 学習支援員配置事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,154万9			280万0			1,874万9
事業期間		平成20年度～			総事業費	
【事業目的】						
小・中学校において児童生徒の学力向上のために、学級担任及び教科担任等の補助として授業に入り、学習活動上のサポートを行います。						
また、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助を行います。さらに、発達障害の児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行い、障害等に応じた適切な教育を実施します。						
【事業概要】						
配置人数		20人（全小・中学校）				
勤 務		週5日 年間175日				
勤務時間		1日5時間				
活動内容		①児童生徒の学習活動の補助 ②児童生徒の抱える学習上の困難に対しての支援 ③発達障害の児童生徒に対する学習支援、学習活動、教室間移動等における介助 ④運動会（体育大会）、学習発表会、校外活動等の学校行事の支援 ⑤支援方法等の打ち合わせ ⑥その他校長が指示する事項				
【成果】（令和元年度全国学力・学習状況調査の結果から）						
○小学校国語、算数、中学校国語、数学の平均正答率が全国平均、県平均を上回りました。						
○中学校英語の平均正答率が、全国平均をわずかに下回ったものの、県平均を上回りました。						
小学校						
中学校						
80 75 70 65 60 55 50 67 61 63.8 67 65 66.6 島原市 長崎県 全国 国語 算数 80 75 70 65 60 55 50 74 73 72.8 64 60 59.8 55 54 56 島原市 長崎県 全国 国語 数学 英語						
科目	10 款	2・3 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

281P

事業名		【継続】 幼児ことばの教室設置事業															
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)															
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源												
116万0					116万0												
事業期間		平成11年度～			総事業費												
【事業目的】 言葉に課題のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、課題の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。																	
【事業概要】 設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内） 開設日時 週4日（火曜～金曜） 勤務時間 1日4時間 活動内容 指導員1人配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。																	
幼児ことばの教室（家庭の状況に応じて通室日・時刻を決定します） 指 導 理解・啓発 家庭（幼児の状況） ・正しく発音ができない（機能的構音障害） ・話し言葉の発達が遅れている（発達遅滞） ・口蓋裂により言葉の異常がある（器質的構音障害） ・難聴のために、言葉がはっきりしない（難聴） 相談 気づき 幼稚園 保育園 （気になる点を保護者や 幼児ことばの教室へ連絡）																	
【成果】																	
<table><tr><td></td><td>平成29年度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>教育相談</td><td>31件</td><td>教育相談 33件</td></tr><tr><td>入室児</td><td>24人</td><td>入室児 30人</td></tr><tr><td>退室児</td><td>17人</td><td>退室児 24人</td></tr></table>							平成29年度	平成30年度	教育相談	31件	教育相談 33件	入室児	24人	入室児 30人	退室児	17人	退室児 24人
	平成29年度	平成30年度															
教育相談	31件	教育相談 33件															
入室児	24人	入室児 30人															
退室児	17人	退室児 24人															
科目	10款	2項	2目	目名称	教育振興費												
事業計画	前年度まで			今年度													
	上記事業を実施			上記事業を実施													
				来年度以降													
			引き続き実施予定														

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 小・中学校就学援助事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,278万0	1万0				5,277万0
事業期間				総事業費	

【事業目的】

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度により支援を行うことで、健康で学びに専念できる環境(学校、家庭)を充実させ、将来を担う子どもたちの健全な「人づくり」を目指します。

【事業概要】

援助の内容と積算明細

※学校給食費については、食数により算定

区 分	費 目	単価(円)	人数	金額(千円)	
小学校	(新入学品費)	1年	51,060	72	367万7
	学用品費	1年	11,630	60	69万8
		2-6年	13,900	308	428万1
		修学旅行費	6年	21,890	61
	校外活動費	5年	実 費	94	24万0
	社会科見学活動費	4年	実 費	60	18万0
	医療費		実 費	216	96万4
	学校給食費		実 費	367	1744万0
	通学費		実 費	1	6万0
	小学校 計				2887万6
中学校	(新入学品費)	1年	60,000	75	450万0
	学用品費	1年	22,730	68	154万6
		2-3年	25,000	132	330万0
		修学旅行費	2年	60,910	62
	校外活動費	1年	実 費	68	15万9
	医療費		実 費	112	63万3
	学校給食費		実 費	182	998万9
中学校 計				2390万4	
全体 合計				5278万0	

認定者数及び認定率の推移

(R1.10現在)

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
認定者数 (年度末)	小学校	316	327人	337人	332人
	中学校	208	188人	189人	172人
	合計	524	515人	526人	504人
認定率 (年度末)	小学校	13.90%	14.17%	14.58%	14.25%
	中学校	16.26%	16.59%	16.74%	16.43%
	合計	14.75%	14.97%	15.29%	14.92%

科目	10 款	2・3 項	2 目	目名称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
283P、293P

事業名		【継続】 小・中学校施設整備事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8,580万0				4,260万0		4,320万0
事業期間					総事業費	
【事業目的】						
学校施設は、将来を担う児童生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たす極めて重要な施設であることから、修繕・工事など適切な営繕管理を行い施設の安全性と機能性の確保を図ります。						
【事業概要】						
学校施設の営繕・管理については、各小中学校において現場の調査確認を行い、危険性・緊急性・必要性等を考慮して修繕・工事を実施します。						
《修繕・工事の内訳》						
○小学校 (単位:千円)		○中学校 (単位:千円)				
・ 修繕料 8,000		・ 修繕料 4,000				
・ 工事請負費 35,000		・ 工事請負費 27,000				
合 計 43,000		合 計 31,000				
《主な工事等の概要》						
工事名称		工事概要				
小学校	第一小、大三東小の校舎エアコン更新工事（14基）	老朽化により故障して稼働していない普通教室用エアコンの更新				
	第二小学校キュービクル更新工事	平成3年度設置から28年を経過し、耐用年数の20年を大幅に超えているキュービクルの更新				
	第三小、三会小、大三東小、高野小、湯江小のトイレ洋式化工事（13基）	校舎トイレ及び屋外トイレ和式便器の洋式化便器への改修				
中学校	三会中学校体育館床張替工事	白蟻食害により破損が著しい体育館床の全面張替工事及び白蟻駆除				
	第一中学校運動場擁壁補修及び掲揚台設置工事	内部が空洞化している運動場擁壁の補修及び国旗、校旗掲揚台の設置				
	第一中、第二中、第三中のトイレ洋式化工事（9基）	校舎トイレ和式便器の洋式化便器への改修				
委託	学校施設長寿命化計画策定業務委託	次年度以降、補助事業採択の要件化が検討されている同計画を策定するための委託料				
科目	10 款	2・3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	施設整備を計画的に実施			施設整備を計画的に実施		引き続き計画的に実施

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書

283P、293P

事業名	【継続】 非構造部材耐震化事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4億6,020万4	1億4,753万7		3億1,210万0		56万7
事業期間	平成28年度～			総事業費	

【事業目的】

未整備の学校校舎非構造部材(外壁)の改修を行い、防災機能を強化し教育環境の改善を図ります。

【事業概要】

個別施設計画に基づく第五小学校及び第二中学校の校舎外壁改修工事及び防水工事。

(事業内訳)

・五小外壁及び屋上防水改修工事	163,000 千円
・二中外壁及び屋上防水改修工事	290,000 千円
・ 合計	453,000 千円

(特定財源)

- ・国交付金
(対象事業費の1/3補助)

令和3年度実施予定の湯江小学校外壁改修工事に向けた実施設計業務委託。

(事業内訳)

・湯江小学校設計委託料	5,300 千円
-------------	----------



島原市立第五小学校



島原市立第二中学校

科目	10 款	2・3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	非構造部材耐震化の設計 第五小学校 (2棟) 第二中学校 (2棟)			R2年度工事 第五小学校 (2棟) 第二中学校 (2棟) R2年度設計 湯江小学校 (1棟)		R3年度工事 湯江小学校 (1棟) R3年度設計 高野小学校 (1棟) 第一中学校 (1棟)

事業名		【継続】 小・中学校降灰防除事業（エアコン更新）				
当初予算額		財 源 内 訳（単位：千円）				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億2,335万2		8,241万5		3,670万0		423万7
事業期間		平成28年度～			総事業費	
【事業目的】 猛暑による児童生徒への健康被害を踏まえ、熱中症対策として老朽化している既存空調設備の更新を図ります。 本市学校施設の空調設備は、雲仙普賢岳噴火時の平成3年、4年に設置したものがほとんどで、設置後25年以上が経過しており、老朽化により不具合が生じている器具が増加傾向にあります。また、機材が古く、すでに交換用部品も製造されていないことから修理も出来ないため、計画的に設備の更新を進めており、令和2年度では下記のとおり小中学校2校の設備更新を図ります。						
【事業概要】 ・第五小学校 普通教室、特別教室等の空調機62基の更新 ・第二中学校 普通教室、特別教室等の空調機86基の更新						
【事業内訳】						
○ 第五小学校（単位：千円）						
・技術員報酬 40万7						
・技術員社会保険料 6万9						
・設計委託料 240万0						
・工事請負費 4,900万0						
合計 5,187万6						
○ 第二中学校						
・技術員報酬 40万7						
・技術員社会保険料 6万9						
・設計委託料 300万0						
・工事請負費 6,800万0						
合計 7,147万6						
【特定財源】（単位：千円）						
・国の交付金 8,241万5 （対象事業費の3分の2補助）						
						
						
科目	10 款	2・3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	【設計・工事】 第二小学校 三会中学校			【設計・工事】 第五小学校 第二中学校		【設計・工事】 湯江小学校 第一中学校

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
289P

事業名		【継続】 心の教室相談員配置事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
447万4						447万4
事業期間		平成10年度～			総事業費	
【事業目的】 中学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、心のゆとりを持てるような環境を提供し、生徒のストレスを和らげることのできる第三者的存在として、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。						
【事業概要】 《事業主体》 島原市 《事業概要》 配置人数5人（全中学校に各1人） 勤務時間 3校 週4日 1日5時間（第一・第二・有明中学校） 2校 週3日 1日4時間（第三・三会中学校） 活動内容①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。 また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。 不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。 ②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。 ③その他、学校の教育活動の支援を行います。 ※相談業務の増加のため、令和2年度から勤務日数を週2日から週3日に増加						
【成果】 より多くの子どもたちの悩みに対応できたかどうかは、重要な相談員としての成果指標です。そのため、相談数を成果の目標としてあげております。 〔相談件数〕・・・818件（R元年7月末現在） 〔内 容〕・・・いじめ、不登校、友人関係、異性関係、家族問題、健康子育て、非行、学習・進路、教師との関係等です。						
科目	10 款	3 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【新規】 島原市遺跡地図作成事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
84万9					84万9
事業期間	令和2年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

開発事業者及び市内の開発事業担当課に島原市に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知するための遺跡地図を作成します。

【事業概要】

長崎県学芸文化課が作成している長崎県遺跡地図ホームページの周知の埋蔵文化財包蔵地範囲の位置データを取得し、島原市地理情報システムに掲載します。

A1版の遺跡地図を作成し、開発事業者等へ配布します。

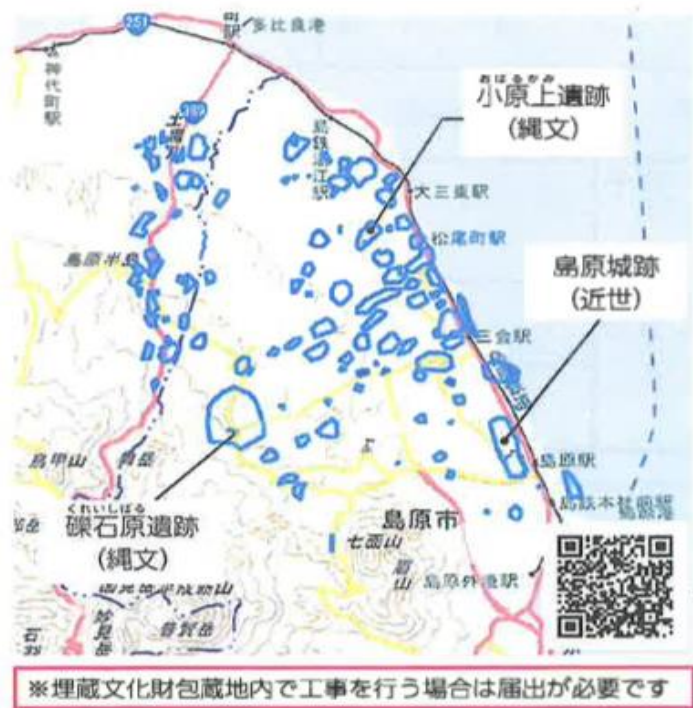
【効 果】

最新の周知の埋蔵文化財包蔵地範囲が掲載された遺跡地図を開発事業者等に配布し、工事着工前に埋蔵文化財発掘届の提出を促します。

島原市地理情報システムに周知の埋蔵文化財包蔵地範囲を掲載し、職員が容易に埋蔵文化財の位置情報を閲覧できる状態となることで、島原市が主体となる開発事業による無届工事の発生を防止します。

【事業スケジュール】

- 令和2年4月
周知の埋蔵文化財包蔵地範囲の位置データを取得
- 令和2年5月
島原市地理情報システムに掲載
- 令和2年6月
A1版の遺跡地図を作成し、開発事業者等へ配布



出典：長崎県遺跡地図
<https://iseki.news.ed.jp/iseki/controller/iseki.php>

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			遺跡地図の作成		遺跡地図の活用

事業名	【継続】 地域おこし協力隊文化財活用事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
824万7					824万7
事業期間	平成30年度～令和3年度 (複数年事業)			総事業費	2,624万3

【事業目的】

地域おこし協力隊の制度を活用し、埋蔵文化財の啓発や、古文書の解説、古文書資料等の漫画化を行い、島原の歴史を広く市民へ発信し、島原の歴史に対する理解と関心を高めます。

【事業概要】

- 地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献します。
- 古文書の解説、古文書資料の漫画化、埋蔵文化財啓発などを行う者を引き続き雇用します。
- 総務省による支援・財政支援（特別交付税）
 隊員1人につき440万円上限（＝報酬等（上限240万円）+活動費（上限200万円））
 対象経費＝隊員の「活動」に要する経費、隊員の「定住」「起業」「就農」等の支援に要する経費
 自治体1団体あたり200万円上限：募集に係る経費
 隊員の募集や研修、マネジメント等の面で地方自治体をサポート
- 期間概ね1年以上最長3年
 ※3年を超える場合は特別交付税による支援は受けられないが活動継続は可能

【効 果】

島原の歴史や魅力を発信することにより、市民の郷土への愛着が育まれるとともに、観光客等の交流人口の増加が見込まれます。
 本市の歴史や文化財を市民に身近に感じてもらいます。



公民館講座で講演を行う庄司隊員

科 目	10 款	4 項	1 目	目 名 称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	古文書解説、古文書資料の漫画化、埋蔵文化財啓発などを行えるものを雇用し、各々の役割で資料や情報を収集し、事業の基礎データの蓄積を行った。			過年度に蓄積した情報を市民にわかりやすく伝えるための情報の整理と発信を行う。		過年度に蓄積した情報を市民にわかりやすく伝えるための情報の整理と発信を行う。

事業名	【継続】 島原市所蔵古文書調査事業費				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
559万6	279万9	55万9			223万8
事業期間	平成30年度～令和3年度 (複数年度事業)			総事業費	1,673万7

【事業目的】

本市は、旧島原藩主・松平家から寄贈された歴史的な史料「肥前島原松平文庫（長崎県指定有形文化財）」をはじめ、島原藩の藩士家に伝えられた数多くの史料を所有しています。「肥前島原松平文庫」は目録が刊行されていますが、その他の史料については、ほとんどが未調査、未整理で、目録も刊行されていません。

島原藩や近代島原の歴史について調査研究を進めるために、これらの未整理史料約8,000点を早急に調査・整理し、報告書（目録）を刊行し、情報発信を行います。

また、調査のなかで得られた新知見をもとに、企画展示やシンポジウムなどを積極的に行います。こうした一連の事業を通じて、広く内外に島原の新たな歴史像・地域像を発信・提示し続けることで、島原市が所有する貴重な史料を地域の活性化に役立てます。

【事業概要】

資料を、旧所蔵先をひとまとまりとして、1点ずつ調査します。調査内容は、表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測などを行います。

その後、調査項目をデータ入力し、目録化を行い、報告書を刊行します。

調査対象資料はおよそ8,000点を見込んでおり、平成30年度から令和2年度までの3ヶ年は、年間2,500点を目標に資料調査し仮目録を作成します。令和3年度は、残りの資料の調査と仮目録作成を実施し、調査報告書（目録）を刊行する予定です。



寄贈された資料の当初の状態



科 目	10 款	4 項	1 目	目 名 称	社会教育総務費	社会教育課
	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
事業計画	- 調査指導委員会の設置 資料群の調査順序・方針の策定 - 資料調査開始 表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測			- 調査指導委員会の開催 - 資料調査 表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測 - 大型絵図等デジタル撮影		- 資料調査 - 調査報告書作成

事業名		【継続】 放課後子ども教室推進事業			
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)			
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
314万8			208万5		106万3
事業期間		平成20年度～			総事業費
【事業目的】 子どもの居場所を確保し、安全で安心して子育てができる環境づくりに寄与し、自主学習習慣の育成、地域人材との交流を図るため、夏休みに全地区公民館で「スクールキッズ」を、放課後に学校の施設を利用し全小中学校で「放課後子ども学習室」を実施します。					
【事業概要】 ○ 「スクールキッズ」…希望する小学生を集め、静かな環境で自学の習慣をつける訓練をします。夏休みの第2週の4日間の午前中 (26年度 2公民館、27年度 4公民館、28年度から 7公民館) ○ 「放課後子ども学習室」…放課後1時間に学校の余裕教室を開放し、宿題等の指導を行います。 26年度 1校（小学校）・27年度 10校（9小学校、1中学校） 28年度から 14校（9小学校、5中学校）					
【スタッフ】 ○ 「スクールキッズ」…退職校長会2人（質問部屋配置）、公募の見守指導員1人（自習部屋配置）を各公民館に配置します。 ○ 「放課後子ども学習室」…見守学習支援員を各校1人以上おきます。					
【効果】 学力向上、自主学習定着、子どもの居場所づくり、少子化対策					
 					
科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費
事業計画	前年度			今年度	
	スクールキッズ 7地区公民館			スクールキッズ 7地区公民館	
	放課後子ども学習室 9小学校、5中学校			放課後子ども学習室 9小学校、5中学校	
				社会教育課	
					来年度以降
					引き続き継続予定

事業名	【新規】 霊丘公民館大規模改修事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,150万0			1,030万0		120万0
事業期間	令和2年度～令和3年度 (複数年事業)			総事業費	2億6,225万0

【事業目的】

公民館は、地域住民の最も身近な学習施設として多様な学びの機会や交流の場を提供し、よりよい地域社会づくりに大きく貢献する場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たす極めて重要な施設であることから、修繕・工事など適切な営繕管理を行い施設の安全性を確保することが必要です。本施設においては老朽化も進み、内外壁の傷みも激しいことから、大規模な改修を図ります。

【事業概要】

令和2年度 設計業務

令和3年度 改修工事業務

霊丘公民館については現場調査のうえ、危険性・緊急性等を勘案して予算の範囲内で適切な営繕管理を行います。

長寿命化のため、外壁、屋根、窓、照明器具のLED化などを予定



玄関雨漏れによる腐食



コンクリートブロック片落下



電灯部分から雨漏れ



科目	10 款	4 項	2 目	目名称	公民館費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	-			・ 霊丘公民館大規模改修に係る設計業務		・ 霊丘公民館大規模改修

事業名	【継続】 フッ化物洗口推進事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
82万0		9万1			72万9
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にあります。12歳児の一人当たりのむし歯の本数は長崎県内でも高い順位でしたが、集団によるフッ化物洗口を小学校で導入したところ、むし歯の低減につながりました。

そこで、昨年度から集団によるフッ化物洗口を中学校でも導入し、市内の子どものむし歯の更なる低減を図ることを目的とします。

【事業概要】

実施対象	小学校1～6年生の希望者（全児童が希望した場合、約2300人） 中学校1～3年生の希望者（全生徒が希望した場合、約1150人）																						
実施方法	フッ化物洗口液10mLで、1分間「ぶくぶくうがい」をします。 使用薬剤…ミラノール顆粒11%																						
実施日時	週1回（年間 小学校42週、中学校42週）																						
必要物	・薬剤（ミラノール）・紙コップ・プッシュボトル・カルシウム飲料																						
費用	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>小学校（約2300人）</th><th>中学校（約1150人）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤 1人分の薬剤：0.1包 1包の値段：約35円</td><td>1回にかかる費用：約8千円 1年間にかかる費用：<u>約338千円</u></td><td>1回にかかる費用：約4千円 1年間にかかる費用：<u>約169千円</u></td></tr> <tr> <td>紙コップ 1個の値段：約1.5円</td><td>1年間にかかる費用：<u>約145千円</u></td><td>1年間にかかる費用：<u>約72千円</u></td></tr> <tr> <td>プッシュボトル</td><td><u>約50千円</u></td><td><u>約25千円</u></td></tr> <tr> <td>カルシウム飲料</td><td><u>約13千円</u></td><td><u>約6千円</u></td></tr> <tr> <td>計</td><td><u>約546千円</u></td><td><u>約273千円</u></td></tr> <tr> <td>合計</td><td colspan="2"><u>約819千円</u></td></tr> </tbody> </table>			小学校（約2300人）	中学校（約1150人）	薬剤 1人分の薬剤：0.1包 1包の値段：約35円	1回にかかる費用：約8千円 1年間にかかる費用： <u>約338千円</u>	1回にかかる費用：約4千円 1年間にかかる費用： <u>約169千円</u>	紙コップ 1個の値段：約1.5円	1年間にかかる費用： <u>約145千円</u>	1年間にかかる費用： <u>約72千円</u>	プッシュボトル	<u>約50千円</u>	<u>約25千円</u>	カルシウム飲料	<u>約13千円</u>	<u>約6千円</u>	計	<u>約546千円</u>	<u>約273千円</u>	合計	<u>約819千円</u>	
	小学校（約2300人）	中学校（約1150人）																					
薬剤 1人分の薬剤：0.1包 1包の値段：約35円	1回にかかる費用：約8千円 1年間にかかる費用： <u>約338千円</u>	1回にかかる費用：約4千円 1年間にかかる費用： <u>約169千円</u>																					
紙コップ 1個の値段：約1.5円	1年間にかかる費用： <u>約145千円</u>	1年間にかかる費用： <u>約72千円</u>																					
プッシュボトル	<u>約50千円</u>	<u>約25千円</u>																					
カルシウム飲料	<u>約13千円</u>	<u>約6千円</u>																					
計	<u>約546千円</u>	<u>約273千円</u>																					
合計	<u>約819千円</u>																						

○長崎県フッ化物洗口推進事業補助金

中学校経費の1／3

科目	10 款	5 項	1 目	目 名 称	保健体育総務費	学校教育課
事業計画	前 年 度 まで			今 年 度		来 年 度 以 降
	全小学校実施 全中学校（※二学期から） へ拡充			全小・中学校実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】				
	平成新山 島原学生駅伝				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,792万0				100万0	1,692万0
事業期間	平成10年度～			総事業費	

【事業目的】

駅伝大会を島原市で開催することにより、この大会を冬の一大スポーツイベントとして定着させ、平成新山を冠する大会として、選手たちの力強い走り、島原半島ジオパークはもとより、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めます。

【事業概要】

《経緯》 平成10年度に、1市16町が協力して、「島原・雲仙学生駅伝」として第1回目を開催し、平成20年度からは、島原市1市での開催となり、島原市内一円コースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。男子は令和2年度で23回を数え、女子は平成17年度から開催しており、令和2年度で16回を数えます。

《主体》 平成新山 島原学生駅伝大会 実行委員会

※構成団体は以下のとおり。（ ）内は主な役割。

- ①九州学生陸上競技連盟（大会・選手運営及びエントリー関係・式典催事）
- ②島原市（会場及びコース管理・大会運営）
- ③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会（競技運営）
- ④長崎国際テレビ（報道関係・大会広報）

《期間》 開 始：男子：平成10年度～ 女子：平成17年度～

期 日：12月 第1土曜日（H10、H11、H25、H26 除く）

《内容》

- ・九州学生駅伝対校選手権大会 7区間 57.80キロ（島原市内コース）
- ・九州学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.85キロ（島原市内コース）



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		上記事業を実施予定

事業名	【継続】 ジュニアスポーツ振興事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
140万5				140万5	
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

本市のジュニアスポーツの充実を図るため、トップレベルの指導者や選手がいる大学との協定に基づき、小中学生を大学に派遣し、講義や実技指導を受けることにより、児童生徒の意識の高揚を図り、さらなるスポーツの振興や競技力の向上に努めます。

【事業概要】

日本体育大学と協定を結び、相互の施設の利用や指導者の派遣などの交流事業を行います。

【例】

- ・オリンピックの意義・歴史の学習（オリ・パラ教育）
- ・近代的な施設による体験学習（意識の高揚）
- ・有名な選手や指導者からの実技学習（技術力の向上）
- ・学生との交流による社会学習（意識の高揚）
- ・専門教授の招聘事業講演（指導者向け、児童・生徒向け講演等）

- リーダーシップ
- 競技力向上
- 社会人基礎力の醸成
- 協調性
- スポーツの振興



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業			・小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業		・小中学生を日本体育大学へ派遣し体験学習を行う。 ・指導者の招聘事業

事業名		【継続】 J F A こころのプロジェクト「夢の教室」			
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)			
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源
295万0					295万0
事業期間		平成26年度～			総事業費
【事業目的】					
スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図ります。					
【事業概要】					
「夢の教室」公演事業					
主 催 島原市、公益財団法人日本サッカー協会					
対 象 島原市内全小学校第5学年					
「カリキュラムの内容」					
小学校の正規の授業2時間（90分間）を利用して行う。					
●【前半】 ゲームの時間（35分）					
体育館で、体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームや競争を通じて、目的のために協力すること、相手を思いやる心、フェアプレー精神を、実技の中で気付いてもらう時間である。					
①自己紹介（5分）					
②サブゲーム（15分）					
③メインゲーム&まとめ（15分）					
（※夢先生の専門競技をするわけではありません。）					
●【後半】 トークの時間（55分）					
夢先生の体験談をもとに、児童とともに夢について語り合う時間である。					
①夢先生の夢トーク（35分）					
②みんなの夢（15分）					
③エンディング（5分）					
 					
科目	10 款	5 項	2 目	目 名 称	スポーツ振興費
	前 年 度 まで			今 年 度	ス ポー ツ 課
					来 年 度 以 降
	市内小学校第5学年 全クラス実施			市内小学校第5学年 全クラス実施予定	市内小学校第5学年 全クラス実施予定

事業名	【新規】 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,337万5				355万1	982万4
事業期間	令和2年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

東京2020オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプを島原市で行ってもらい、参加国等とのスポーツを通じた相互交流や地域活性化を図ります。

【事業概要】

事前キャンプが決定しているスペインレスリング連盟の受け入れを行うとともに、パラリンピックドイツ陸上競技の事前キャンプ受け入れを行います。

スペインレスリング連盟視察の様子



ドイツ障害者連盟(陸上競技)視察の様子



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画				上記事業を実施		

事業名	【継続】東京2020オリンピック聖火リレー事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
721万1				500万0	221万1
事業期間	令和元年度～令和2年度 (複数年度事業)			総事業費	794万8

【事業目的】

東京2020オリンピック聖火リレー事業として、島原市内を走行し、オリンピック開催の機運醸成を図るとともに、本市オリンピック・パラリンピック競技事前キャンプ受け入れへの市民の方々の関心を高めます。

【事業概要】

聖火リレーの火を安全・確実に走者間をつないでいくために、交通規制や警備体制の構築を図り、あわせて、ミニセレブレーションの開催などや装飾などで聖火リレーを盛り上げていきます。

※ルートは組織委員会の要請により、非公表。
詳細ルートは、令和2年4月中旬に公表予定。



科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	スタッフユニフォームの購入、警備関係契約及び通行止め区間事前周知看板作成等契約締結			上記事業を実施		

事業名		【新規】宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカーin島原」				
当初予算額		財源内訳				(単位：千円)
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
109万5					109万5	
事業期間		令和2年度(単年度事業)			総事業費	
【事業目的】 長崎県及び一般財団法人自治総合センターと連携し、サッカーを通じて青少年の健全育成や、明るいまちづくりなど地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に開催します。						
【事業概要】 サッカー元日本代表選手の華麗な技術やスピードなどを体感させることで、子ども達へ夢を与える機会を創出する。また、市民とのドリーム・サッカーを通じた交流を積極的に進め、本市のスポーツに対する意識高揚や更なるスポーツ振興、地域の競技力アップに努めることで交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。						
●期 日 令和2年6月27日(土)・28日(日) 2日間 ※開催日の最終決定は3月末の予定(未公表) ●場 所 島原市営陸上競技場(雨天の場合：島原復興アリーナ) ●参加選手 約20人 ●内 容 【第1日目】 ①サッカー指導者クリニック ・対象／少年少女サッカーチームの指導者等 ・人数／40～50人程度 【第2日目】 ①少年少女サッカー教室 ・対象／小学5～6年生のサッカー経験者 ・人数／200～250人程度 ②親善試合「ドリーム・ゲーム」 ・ドリームチーム対島原市代表チーム ③ドリーム抽選会 ・対象／来場者 ・賞品／出場選手のサイン入りボールなど ●費用 原則、自治総合センターが負担(開催地負担経費分) ・会場及び付帯施設、設備の提供と運営経費 ・運営スタッフの提供経費 ・参加者、出場者の募集と管理経費 ・開催告知及び集客経費 ・選手等の送迎経費 ・選手、スタッフの昼食等経費						
 (参考：足利市チラシ)						
 (参考：足利市記念撮影)						
 (参考：足利市サッカー教室)						
科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			サッカー指導者クリニック・少年少女サッカー教室・ドリームゲーム		—

事業名		【継続】 学校給食会運営経費				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億3,529万7						1億3,529万7
事業期間		平成30年度～			総事業費	
【1】設立目的						
学校給食の円滑な実施と運営を図り、児童生徒の健全な心身の発達と豊かな食生活を実現するとともに、学校給食を通じた食育の推進と地産地消の推進及び、広く市民の健全な食生活の実現に寄与することを目的とします。						
平成30年4月1日設立						
基本財産 3百万円						
設立者 島原市長 古川 隆三郎						
理事定数 3人以上10人以内						
監事定数 1人以上 3人以内						
評議員定数 3人以上 7人以内						
						
(学教給食調理の様子)						
【2】受託事業						
(1) 学校給食費の徴収に関すること						
(2) 学校給食用物資の調達及び供給に関する事業						
(3) 学校給食の調理に関する事業						
(4) 学校給食用物資の安全性の確保に関する事業						
(5) 学校給食の実施上必要な講習会、研究会に関すること						
(6) 学校給食を通じた食育の推進に関する事業						
(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業						
						
(学校給食)						
【3】運営経費						
運営に要する経費は、島原市から補助金、委託料として交付します。						
(令和2年度)						
運営費補助金						